

滝里ダムの防災操作効果について

平成23年9月1日より降り始めた雨により、空知川の上流にある滝里ダムでは、**河川の水位を低減させる防災操作を実施しました。**

ダムに流れ込んでくる水を一部貯め込み、下流に放流する水を少なくすることで、空知川の赤平橋付近（赤平水位観測所）の水位を**概ね1m程度低減**させたと想定されます。

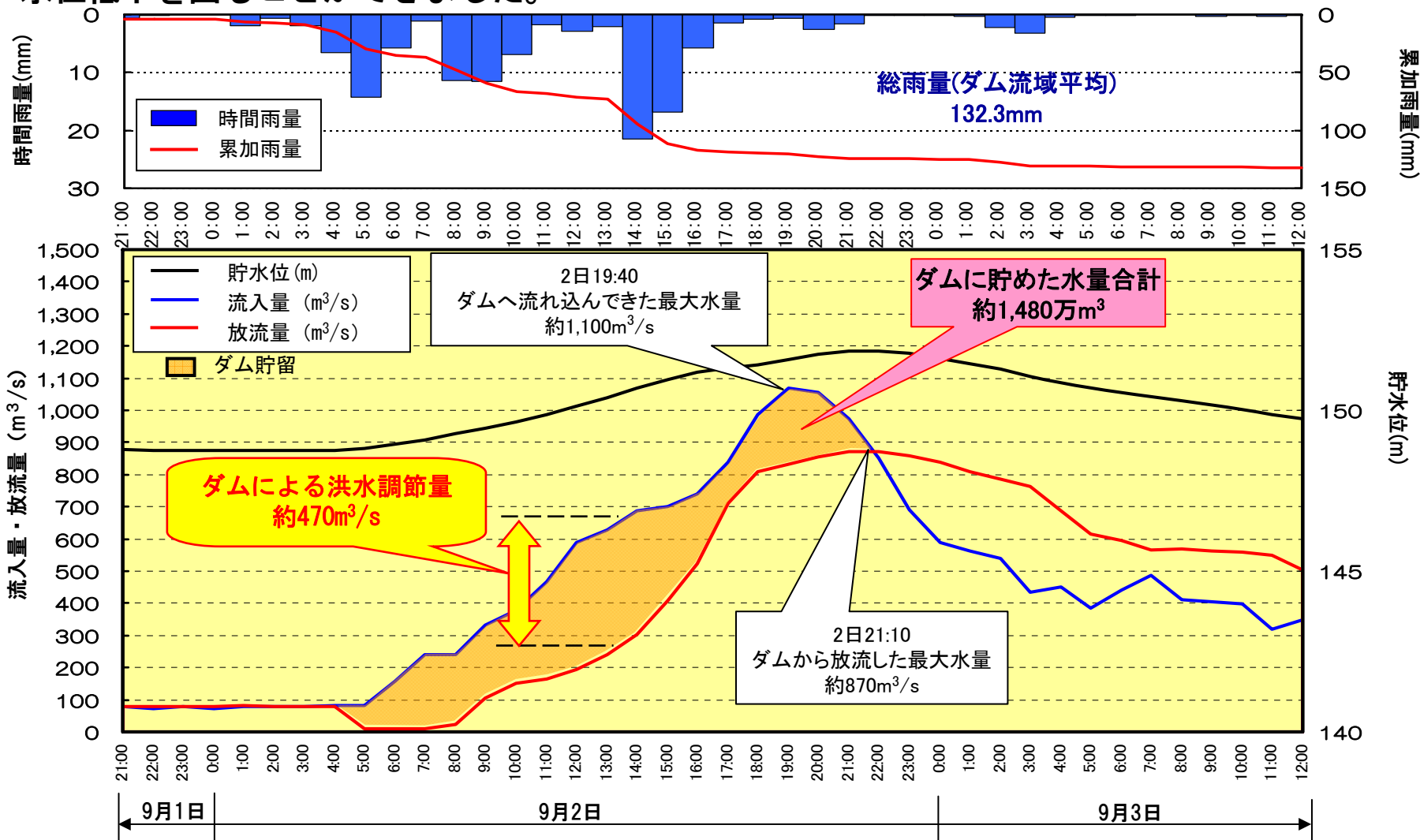


※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

滝里ダムの防災操作状況（平成23年9月2日出水）

今回の出水により、滝里ダムでは、最大で約1,100m³/sの流入がありました。その間、最大約470m³/sの洪水調節を行いました。

9月2日に滝里ダムでは約1,480万m³(札幌ドーム約9個分)の洪水をダムに貯め、下流河川の水位低下を図ることができました。



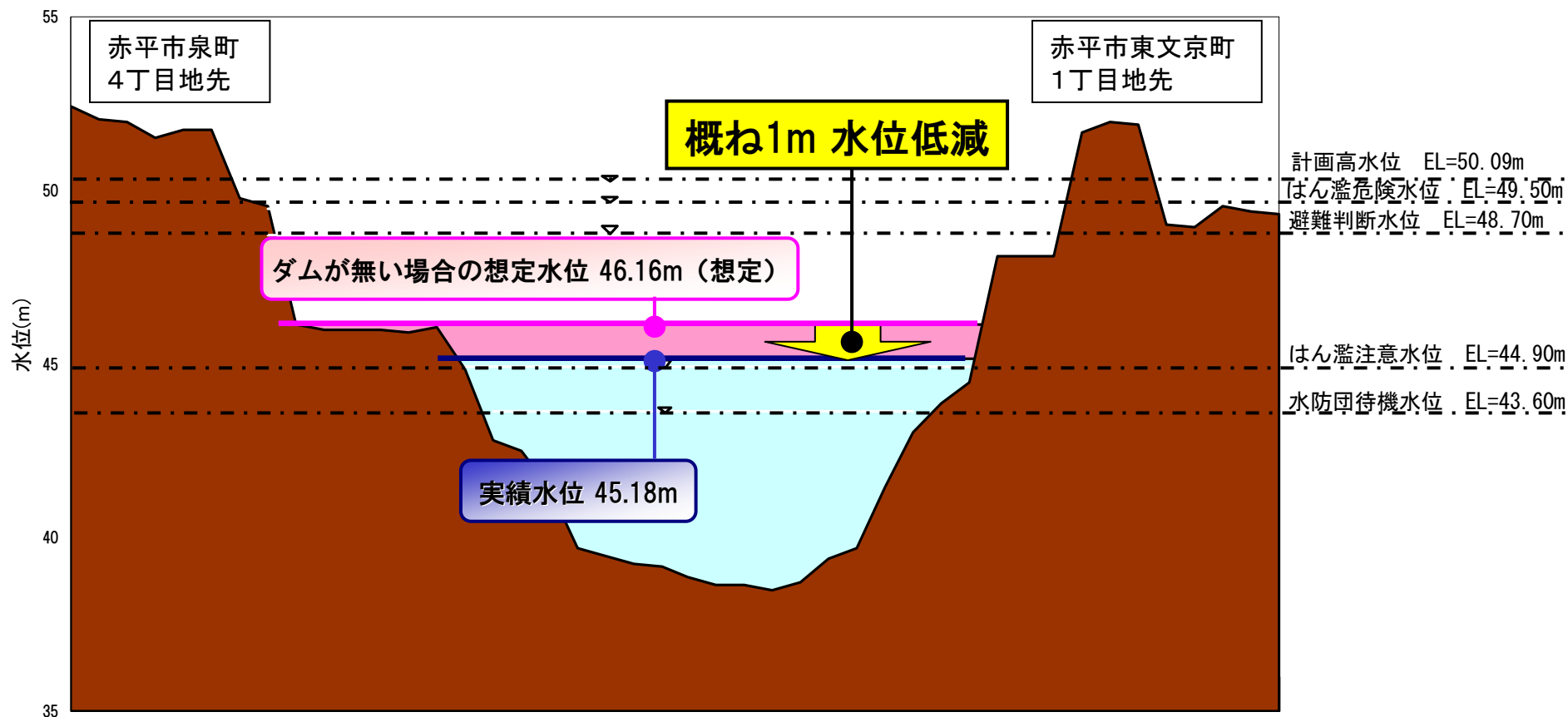
※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更が及び得ます。

滝里ダムによる水位低下効果速報

(赤平水位観測所地点)

滝里ダムで行った防災操作により、空知川の赤平橋付近（赤平水位観測所）の水位を**概ね1m低減**させたと想定されます。

◆赤平水位観測所地点（ダム下流約33km）



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。